



号外版

「めぐみちゃんのまちづくりだより」



向台・緑道コースを巡る農とのふれあい散歩道

西東京市内でも特に苗木の生産が盛んに行われている田無駅南部エリアには、圃場で生産されている苗木や植木、農家さんの自宅敷地にある立派な植木について紹介する「樹木プレート」が設置されています。また、市内の自然豊かな地域を紹介する「みどりの散策マップ」は、四季折々の見どころ探しや健康維持のために散策される際に活用をしていただくことを目的に発行されており、緑地や史跡を巡るルートを紹介しています。田無駅南部エリア内を通る「G向台・緑道コース」にある向台公園や阿波洲神社の鎮守の森には大木も多く、狭山・境緑道は狭山湖へ続く自転車道と歩道の道で、沿道には苗木や野菜等を生産する畑の風景が広がります。

まちの「みどり」にふれあいながら、田無駅南部エリア内で生産されている苗木や野菜の圃場、直売所を散策するルートを巡る農とのふれあい散歩をしてみませんか？

平成24年度 緑のアカデミー

第1回：7月1日、第2回：11月23日開催



「緑のアカデミー」は、苗木の生産地の特徴を活かし、市民と植木業者の皆さんからふれあうイベントです。田無緑化組合の方々の「使用する苗木と土は100%西東京市産、植木をとおして緑とふれあう魅力を感じてほしい」という思いでイベントを実施しています。



根巻き作業

田無駅南部エリア内で苗木や植木を生産している農業者の方にご協力をいただき、圃場と自宅敷地をお借りして「緑のアカデミー」を行いました。



剪定パフォーマンス

イベントでは、植木職人の方による「根巻き」や「剪定」の実演、講師の方が指導する樹木アレンジメントを行いました。



案内看板 (風景の窓)

案内看板(風景の窓)は多摩湖自転車道路沿いに2箇所設置されています。案内看板に作られた窓から見る圃場は、一枚の絵画のような眺めです。また、案内看板には西東京市の農に関する情報を掲示しています。



明るい赤が映える風景の窓からは、苗木だけではなく、季節毎に色とりどりの花が咲く風景を楽しめます。



縦長の青い風景の窓から見える圃場の苗木は、特に秋になると木々の紅葉がとてもきれいです。



樹木プレート設置圃場と散策ルート 10～14、17～20番

自転車と歩行者専用の多摩湖自転車道路から苗木や野菜の圃場の眺めることで季節の移り変わりを感じられます。多摩湖自転車道路を基点として散策するのがおすすめです。

散策ゾーンとしては規模は小さいですが、樹木プレートで紹介している3箇所の樹木は、どれも見ごたえがあります。このゾーンは都内の都立公園の中で最大規模の小金井公園にも隣接しています。

樹木プレート設置圃場と散策ルート 41～43番



樹木プレート設置圃場と散策ルート 41～43番



樹木プレート散策のヒント

- ・ 自転車や自転車には注意して散策をお楽しみください!
- ・ 散策の際は歩きやすい服装がおすすめです!
- ・ 圃場等には勝手に立ち入らないようにしましょう!
- ・ 圃場等で農家さんを見かけたら気軽に話しかけてみましょう!

植木のまち歩き



この樹木プレートが目印です!!

樹木プレート設置圃場と散策ルート 1～9番



このゾーンは西武新宿線田無駅から近いところに位置しています。苗木だけではなく、野菜などの生産を行っている圃場もあります。

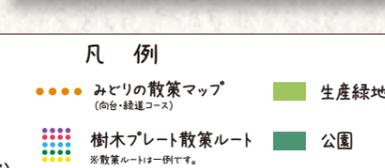
様々な樹種を生産している圃場が複数あります。住宅地の中で出会う広大な苗木の圃場では、丁寧に刈り込みをして仕立てた植木や、大きなサイズの植木など、散策中に目で見えて楽しめるものばかりです。



樹木プレート設置圃場と散策ルート 15、16、21～33、51番



挿し木をして生育しているツツジ等の小さな苗木を生産している圃場や里山などで見られる珍しい樹種を扱っている圃場などがあります。また、ランドマークとなる巨木も多数散策中に見ることが出来ます。



樹木プレート設置圃場と散策ルート 34～40、44～50番

凡例

- 1～51 樹木プレート番号
- ランドマーク
- 案内看板(風景の窓)
- 緑のアカデミー会場
- 農産物直売所
- みどりの散策マップ(向台・緑道コース)
- 樹木プレート散策ルート
- 樹木プレート設置ゾーン
- 生産緑地
- 公園
- 都市計画道路
- 市民農園

どんな木があるかな？

「植木のまち歩き」



市内でも苗木の畑の多い、西武新宿線田無駅南部エリアの51箇所の圃場等に「樹木プレート」を設置しました。市全域では75箇所設置されています。それぞれの畑で育つ苗木の特徴や季節ごとの畑の様子、栽培のこだわりなどを、プレートごとに異なるオリジナルの内容で表示しています。

5

イヌツゲを種から育てています。生垣によく利用され、昔は東京の植木の代表格でした。

12

ヒメシャラ、アオハダ、アオダモ、ヤマボウシなどの白い花の咲く雑木が多いです。その他歩く人の目の保養となるように花も育てています。

14

シダレザクラや道路沿いのドウダンツツジ、春から初夏のタイサンボクは花がきれいです。

26

ホンユズ、イッサユズ、シークワーサー、カボス、スダチ、キンカン、デコボン、レモン、アマナツ、ハッサク、ダイダイを生産しています。

33

サツキやツツジなどの低木を主に育てています。クルメツツジは4月初旬、オオムラサキツツジは5月ごろ花が咲きます。

40

ケヤキは大径木となる落葉高木で、樹形が特徴です。モミジは春の新緑と秋の紅葉が美しいです。

47

基盤を作る木材としてカヤノキは使われています。秋になると実は煎って食べることもできます。

6

4月に白い花を咲かせるヒイラギは、毎年春に剪定しています。秋はキンモクセイの香りです。

13

ケヤキ、ヤマボウシ、ヒメシャラなど、落葉樹の若木を育てています。花や紅葉で季節の変化が感じられます。

20

イタリアン・サイプレスは、無剪定でも樹形が整うことが特徴です。この木は今まで一度もハサミを入れたことはありません。

27

このシラカシは、ここに植えられてから少なくとも80年以上は経っています。

34

サツキやツツジの一年生の苗木を挿し木をして育てています。

41

イチョウは木の黄葉が美しく、銀杏が熟します。生垣のオチャノキは、毎年茶摘してお茶を作ります。

48

ケヤキは春の新緑の芽吹き、夏の緑陰、秋の紅葉と季節を通して楽しめます。

7

ケヤキやシラカシを育てています。ミカンとキンモクセイもあるので、香りを楽しんでください。

11

主にトキワマンサク、落葉と常緑のヤマボウシなど庭園樹を育成しています。常緑のヤマボウシは白い花を葉の上に咲かせ、白一色になるくらいきれいです。

21

シマトネリコは人気のある樹種です。成長がとても早いことが特徴です。

28

アセビやナツツバキ、ミツバツツジやイロハモミジの花や紅葉が張るから秋にかけて楽しめます。

35

シマトネリコやオリーブ、ブルーベリーなど人気の苗木を中心に生産しています。

42

このイチョウは樹齢約100年以上です。11月の終わり頃から黄葉の見ごろです。

49

コロラドトウヒは銀青色が特徴で、4月頃に新芽が出た後は特に銀白が強くなります。

12

ヒメシャラ、アオハダ、アオダモ、ヤマボウシなどの白い花の咲く雑木が多いです。その他歩く人の目の保養となるように花も育てています。

15

このケヤキは樹齢100年以上です。戦前までは大きなケヤキが沢山ありました。今でも我が家にはいくつかあります。

22

このケヤキは樹齢約150年くらいです。冬の寒いときに幹に触れると暖かいので、よかったです。

29

イヌツゲは、門かぶりやロウソクなどの仕立てた姿も楽しめます。特に剪定後の新芽の時期がきれいです。

36

1月の終わりから2月にかけて、シダレウメの花が楽しめます。秋やヤマモミジの紅葉がきれいです。

43

ムクロジュの黒い種子は、羽根つき用の実として使われています。実を包む皮は泡立つことから石鹸としても使われていました。

50

4本のラカンマキをキリンのトピアリーにしています。年2回剪定をして、形を整えています。

9

我が家の門かぶりは、樹齢60～70年のマキです。春には対角にあるシダレザクラがきれいな花を咲かせます。

16

シダレザクラ、トキワマンサクやカンツバキなどの花の咲く木や、センペルセコイアなどの針葉樹を育てています。

23

クチナシ、ツバキ、ヒイラギなど、花の咲く木を生産しています。6月にはクチナシの白い花が見ごろです。

30

スズランのような花が咲くアセビは、市内では「アデボ」とも呼ばれています。馬が葉を食べて酔ったようになることから「馬酔木」と書かれます。

37

チャボヒバを剪定するときには、樹形に丸みを持たせるのがポイントです。

44

ハイノキの灰汁は草木染の媒染料として使われています。日陰のある暗い場所で育ちます。

51

ツバキは、冬から春にかけて咲く白やピンクの一重や八重の花と、光沢のある葉が美しいです。

8

サクラ、バラ、アジサイ、コスモスで圃場を囲んでいます。四季折々の花が楽しめます。

17

このソメイヨシノは樹齢約50年です。春になるとたくさんの花が咲き、周囲の木々とのコントラストが美しいです。

24

このスダチは春に白い小さな花が咲き、秋には鈴なりに実がなります。

31

このケヤキは樹齢150年以上です。武蔵野は、昔からケヤキの多い地域です。ケヤキの緑陰は夏に涼を生み出します。

38

高さの揃った玉散らし仕立てのチャボヒバの列植は、迫力があります。

45

ソヨゴは、葉が風に吹かれてそよぐとカサカサ鳴る音が楽しめます。

46

アオダモの幹は、野球のバットの材料となります。樹齢20年程度、幹が15～20cmサイズのものが使われています。

10

オオムラサキツツジ、ヒラドツツジ、サニーフォスター、オオゴンモチ、シルバープリペット、ポートワイン、トリカラーなどの苗木の圃場です。

18

チャボヒバ、シダレウメ、サルスベリ、ドウダンツツジ、その他コニファー類を大事に育成しております。

25

ヤマモミジやイロハモミジは、秋から冬にかけて紅葉がとても美しいです。

32

モチノキは巨木になるので、念に一回剪定し、玉散らし仕立てにしています。後ろのカキは東京御所という種類です。

西東京市では、貴重な農地を残していくために、「東京都農業・農地を活かしたまちづくり事業」を活用した、「西東京市都市と農業が共生するまちづくり事業」を進めています。「緑のアカデミー」、「樹木プレート」、「案内看板」は、本事業の支援を受けています。

発行：西東京市
生活文化スポーツ部
産業振興課

